

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
1	阪南大	山田	343	落ち着いた声でイントネーションも比較的的自然。フレーズが違うので、世界が入ってこない(うねりのため、意味のかけりも不明瞭)。ラストの文の意味が伝わりにくい。滑舌と無声化に練習が必要。地の文とセリフの区分けに工夫が必要。
2	市立南	河内	353	意味をよく考えて読めているが、文字追いになり、口先で読んでいるところがある。早くて(特に後半)音がクリアでないところがある。う行に注意。滑舌、無声化(シャヤシ)に注意。課題の新聞が若い女性のように聞こえる。
3	桃山	松田	366	テンポが工夫されており、努力がわかる。声と場面が合っている。助詞に伸びるところがある。しゃくりあり。少し読み口調。課題の言葉尻のアクセントに注意。
4	四天	清水	358	間やテンポの工夫がみられるが、ややくどい所もある。少し思い入れがある読み方なので、もっと自然に読もう。声を作っている感じがある。場面の展開がわかりにくい。アクセント、滑舌に練習が必要。うねりあり。課題では「誰や」のイメージは？
5	帝塚山	稲田	362	いい場面だが、抽出場所はここがいい？間やテンポを工夫している。抑揚をつけるより、緩急で工夫するともっと良い、長い文が単調になる。題名も自然に読もう。イントネーションに工夫が必要。課題の新聞はいい雰囲気。
6	四天	廣田	361	読み口調が強くて、文字追いの感あり。ブツ切れになっているので意味の係りを気にして音の高低を気にしよう。語尾が伸びる。「じゃけん」お婆さんのセリフの処理に工夫が必要。ラストの読み方が少し暗い。
7	市立南	中道	344	声は良い。全体に声の調子が高く同じようなリズムになっている。しっかり文頭をあげ、もう少しゆったり読み、文末は滑らかに下げよう。うねりがあり、同じようなリズム読みになっているので意味を取りにくい。文末に息が入る感じがある。課題では人物像が把握できてましたか？
8	四天	槇野	342	間の取り方に工夫がみられた。不明瞭な音がある。タ行、ウ行に注意。意味に関係のない高低差があり、音のさばきが良くない。長い文は係り受けを意識して読もう。音の幅が狭く、苦しうに聞こえる。
9	浪速	児玉	355	緩急に努力がみられる。助詞が急に下がる場所がある。写真屋の人物像は？人物のイメージが定まっていない。地の文はもう少し淡々と。無声化に注意。読み方が急に暗くなる場所がある。
10	プール	稲田	365	声量が出ている。セリフを工夫している。(しげちゃんのセリフは少し違うが…)ブツ切れで、フレーズに工夫がほしい。息を抜きながらの発声に聞こえる。
11	桃山	上田	6位	声と場面が合っていて、作品の世界を作っている。文頭が低いところが多い。高低差をもっと使わないと息苦しく感じる。音の高低は意味で考えよう。特定の音が強くなる(特に文末の「た」)。少しリズム読みになっている。課題の言葉尻のアクセントや最後のセリフの間に工夫が必要。
12	市立南	小寺	368	力みがなく聞きやすい声でテンポに工夫がみられるが、文字追いの感あり。内容が伝わりにくい。場面の転換に工夫がほしい。あささんのセリフの間の取り方に注意。最後の二人の会話は何歳のイメージ？

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
13	四天	廣	362	テンポよく読めている。文字追いになっているので意味のまとまりを考えて、間も工夫して読もう。高低差をもう少し使おう。文末をもう少し下げるとよい。コーチのセリフに熱がない。課題はもう少し丁寧に読もう。
14	O S M	岸本	361	聞きやすい声で場面と合っている。抽出箇所にもう少し工夫があれば。文末が(特に後半)立ちすぎて強くなる傾向がある。文末の「た」をしめて読もう。うねりあり。フレージングに工夫がほしい。課題は工夫が感じられ新関のセリフは良い。
15	緑 涼	日下	369	声質が明るくて聞きやすいが「死」がテーマの作品と合っているかどうか…。難しい作品によくチャレンジしている。地の文とセリフの工夫もよい。声の高低のコントロールが甘い。しゃくりがおい。滑舌に注意。最初の一音の「死」をしっかり読もう。
16	梅 花	上田	356	よく健闘しているが読み切れていない。フレージング、ポーズの入れ方にもっと工夫を。一本調子になっている。ブツ切れ感もあるので、意味のかたまりを考えよう。しゃくりや語尾の伸びがある。二人が会話をしているのは何歳のイメージ？課題では最後のセリフの間の取り方に工夫が必要。
17	箕面自	千秋	367	声と場面が合っている。読みのリズムが気になった。声の大小より高低を活用しよう。急に大きな声になると聞いている人はびっくりします。語尾の息が抜ける。「泣きそう」なのはなぜ？課題では言葉尻のアクセントに注意。
18	天王寺	姜	346	落ち着いて読めているが、ムードだけの読みで思い入れの強い読み方に聞こえる。声の高低を意味のかたまりで工夫して活用しよう。イントネーションに注意。
19	桃山	山田	341	好感が持てる読み方。もう少し声を出してもよい。全体的に単調に聞こえる。声の高低をもっと使い意味のかたまりを考えて読もう。セリフに工夫がほしい。田村の人物像は？うねりあり。課題では間の取り方に注意。
20	市立南	山口	365	聞き取りやすいが、機械的に聞こえる。引っ掛かりがなく、すらすら読みすぎている。長音の高さが同じで一定である。少しテンポが速い。分の途中で音を高くしない。イントネーションに注意。うねりあり。
21	箕面自	亀田	362	声の低い部分に集中しているので高低差を活用しよう。間を工夫するともっと良くなる。少し早い。後半は切りすぎ。音に不安定なところがある。アクセント、滑舌に注意。抽出箇所はそれでいい？
22	堺西	上西	361	単調で均等に流れて聞こえる。中身が入ってこないところがある。テンポや間の工夫をすればもっと良くなる。文頭はもう少し高く。「俺にだって」のセリフの調子を考えよう。ダ行に注意。
23	四天	深野	353	クリアに読めているが、テンポが同じで単調。はこのセリフ、はるきのセリフ、それを活かす他の文の調子がすこしずつ違う。もう少し丁寧に読もう。イントネーションに注意。
24	帝塚山	西山	入選	場面と声合っている。テンポに工夫がみられる。男のセリフに挑戦し、力強さも感じられる。音の幅をもっと活用しよう。「1限」のアクセント、「新しいこと」の声の高さに注意。ところどころ声不安定。鼻濁音と無声化に注意。

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
25	市立南	大庭	4位	聞き取りやすく自然なイントネーション。一方でやや単調で機械的な読み方に聞こえる。声の高低は意味を考えて。間(「立派な分別のある」の入れ方)に注意。音の癒着がある。うねりあり。ラストの文の読み方に工夫がほしい。
26	四天	大川	359	聞きやすい声で自然に読めている。テンポに工夫もあり情景が浮かびやすい。ややリズム読みの感ありで不自然。無声化、イントネーションに注意。時々うねる。二人の会話は何歳のとき？
27	市立南	片岡	359	聞きやすい声だが、やや喉声。セリフはわかりやすい。フレーズの後ろが上がっていくときがある。うねりが残る。「表紙に」以降は必要だろうか、調子も変わっている…。課題では「～ですわ」のイントネーションに注意。
28	四天	石井	355	音の幅が狭い中で読んでいる。声の大小より高低を活用しよう。ややリズム読み。間とテンポに工夫が必要。鼻濁音、発音、イントネーションを練習しよう。少しうねりあり。課題では「誰や」の言い方に違和感がある。
29	四天学	鈴木	5位	メリハリがありテンポや間に工夫がみられる。声と場面が合っている。地の文に癖あり。もう少し声を出してもいいのでは。声の大小より高低を活用しよう。早いところは声がつぶれる。語尾に伸びあり。
30	市立南	市坪	入選	明るく聞きやすい声だが、機械的な読み方に聞こえる。セリフのメリハリは良い。長い文はうねりが残る。最初の一文のフレーズの作り方を考えよう。急に暗くなる箇所がある。イントネーションと無声化の練習が必要。
31	四天	杉原	360	明るく聞きやすい声でセリフにも健闘がみられる。第1分のフレーズの作り方を考えよう。後半がやや早くなり、うねりが目立ってきたのが残念。滑舌に注意。
32	緑涼	坪田	359	メリハリのある読み方。地の文を意味のかかりで読むとずっと情景が浮かんでくる。しゃくりや語尾の伸びがみられる。「うまくいくよ」の調子を考えよう。後半は声の調子が落ちたがなぜ？抽出箇所の最後の一文に違和感がある。
33	旭	永田	364	落ち着いた声で聴きやすい。難しい古典に挑戦し、よく健闘している。意味が分かる読み方をしている。意味的に切り方が気になるところがある。「けれ」は強くする必要はない。全体的にもう少し柔らかく読もう。
34	四天	法師山	363	間の取り方がうまく、良い声だが場面設定が分かりにくい。抽出箇所が適切か再考しよう。文末をしっかり下げて閉じよう。はこのセリフに工夫があるとずっと良くなる。
35	市立南	山手	350	いい声だがテンポが同じ。もっとメリハリをつけよう。声の高低のコントロールを練習しよう。ちひろの心やはるきの心がかめない。「ちひろ、がんばれ」の表現を考えよう。ラストの文に違和感がある。うねりあり。イントネーションに注意。
36	堺西	山本	341	声は出ていて感情もわかるがオーバーで何か調子がついている。しゃくりやうねりが多い。内容と声が合っていない。ブツ切れ感あり。滑舌に難あり。イントネーションに注意。

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
37	市立南	小林	3位	自然な読みでテンポもよく情景がうかんでくる。セリフがうまい(全部がセリフのように聞こえる)。文末が息の出る音になっている。ラストの一文の読み方に工夫がほしい。
38	帝塚山	古性	入選	テンポや間の取り方に工夫がみられる。声の高さも適当で聞きやすい。文末が息の出る音になっている。しゃくりあり。無声化、滑舌の練習が必要。
39	梅花	北	352	クリアな発声でゆったりしているがテンポと間が同じでブツ切れになっている。フレージングを考えよう。自然なイントネーションを心がけよう。無声化に注意。語尾が伸びる。抽出場所としてふさわしいか再考しよう。
40	相愛	松本	1位	聞きやすい声で力強さがあり、音の幅を取って工夫している。情景が浮かんでくる。変化をつけているが、セリフの途中で不自然に大きくならないように注意しよう。イントネーションに注意。
41	四天	新地	354	声が出ていて元気があるが、声の高低をもっと活用しよう。第1文をそんなに高く読む必要はないかも…。意味のかたまりで読むともっとわかりやすくなる。滑舌、無声化に注意。
42	帝塚山	菊田	入選	良い声で躍動感が出ている。手をつないだ二人の関係が分かりにくく中身が伝わらないので抽出箇所を再考するほうが良い。抽出話法は地の文と同じように処理をするほうが良い。語尾が伸びる。滑舌に注意。
43	四天	小林	352	良い声だが、丁寧に読みすぎの感がある。文章の躍動感やスピード感をもっと出すべき場面である。文頭をもう少し高くはじめよう。技の名前以降わかりにくくなる。最後の文の読み方に工夫がほしい。
44	旭	竹尾	2位	聞きやすい声で文章に合っている。音の幅、テンポに工夫がみられる。メリハリも良い。後半早くなってしまう箇所がある。もう少ししまりがほしい。地の文のイントネーションに注意。
45	OSM	山口	363	メリハリがあり原作の世界を作っている。セリフについては雰囲気はいい感じだが朗読としてはやりすぎだという意見もある。サ行、「ツ」に注意。少しブツ切れ感がある。意味のかたまりをとらえて読むとよくなる。